

# キリストが すべて

vol. **168**

December 2021

東京基督教大学大学報  
Tokyo Christian University  
Magazine

## CONTENTS

02 特集1 グローバル・スタディーズ専攻

04 特集2 夏の報告

06 教員コラム

09 TCU News

11 入試情報／募金のお願い

07 教員の日／みんなのコラム

10 卒業生インタビュー

12 Information



## 特集1

# グローバル・スタディーズ専攻

2021年度に総合神学科がスタートし、新たに5つの専攻が設けられました。今回はその中のグローバル・スタディーズ専攻の特色ある取り組みを紹介します。



## 英語教育

日常的に英語があふれているTCUならではの英語教育。得意な人はさらに伸ばし、苦手な人もだんだんと身につけられます。

### point Q.TCU 英語教育の目指すところは？

1

A. 日常生活に役立つ事柄、人生を豊かにする知識、そういった情報を英語で理解し、発信し、対話できるようになることです。また平易な英語で書かれたものを大量に読む「多読」を通し、学び続ける楽しさを知ることです。

### point Q. 英語の授業にはどんな特徴がありますか？

2

A. 現在はオンライン授業なので、BookFlix、ReadOasisなどのサイトで多読をしています。名作絵本を朗読とアニメーションで視聴したり、古今東西の文学から最近のニュースまでを扱う平易なテキストを聞き読みしたりと、バラエティに富んでいます。習熟度別クラスでグループワークが多く、祈りと信仰の分かち合いも英語で行うことも特徴です。

### point Q. 英語を使うプログラムは他に何がありますか？

3

A. 夏休みに1か月海外で学ぶ語学研修(EISA)があります。今年はコロナ禍の影響で国内のSYMEという語学学校で実施しました。また、北米の姉妹校であるBiola Universityへの短期留学と、BiolaとTCU両方の学位を取るDouble Degree Programもあります。学内で学びを深めたい方には、留学生と一緒に学ぶ教養と神学のクラスがお勧めです。

## 異文化実習 (プロジェクト型)

例年実施されてきた海外での異文化実習が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施困難になったことを受けて、2021年度から始まった新規コースです。海外に向いてその異文化に触れることに代わって、異文化理解やグローバルなテーマについて学生自らが探求し、国内でのインターンシップやインタビュー等の実習活動の企画運営を通して学ぶプロジェクト型学習です。

### step テーマの設定

1

学生が関心のあるテーマについて予備調査をした上で、関連した活動を自らが企画します。今年度は、発展途上国支援におけるジェンダー、キリスト者の政治や経済政策についての価値観、そして日韓における慰安婦問題等、幅広い領域のテーマを学生達が取り上げています。

### step 実践

2

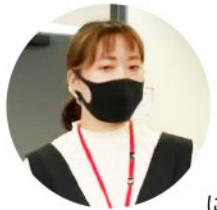
夏休み中に非政府組織(NGO)でインターンをした学生や、アンケート調査やインタビューを行っている学生もいます。

### step まとめ

3

学生自身の体験を振り返り、研究テーマを更に深めた上で、年度末には学外の関係者にも向けてプレゼンテーションを行う予定です。学びの計画、実践、振り返りまでの一連の学びを学生が主体的に取り組むことで、キリスト者として「破れ口」に立つことの意味を実践的に学ぶことを主なねらいとしています。





国際キリスト教学専攻  
2年  
平瀬 明里

この夏、国キ2年生5名が兵庫県姫路にある、SYMEという英語で聖書を学ぶスクールで1か月間学びました。SYMEとは”School of Youth Ministries in English”の頭文字をとったもので、1日約11時間英語のみで授業を受け、生活をします。

その中で私が受けた恵みを分かち合いたいと思います。私の学年は入学時からリモート授業となってしまったので、対面で初顔合わせのメンバーが多く、不思議かつ喜びに満ちあふれたスタートを切ることができました。

授業初日、SYMEの先生やスタッフの方々、TCU生以外の生徒さんと交わる中で、授業時間中は英語のみというのが鉄則で、日本語では会話がすぐ思いつくのに、英語ではなかなか出てこず、悔しい思いをしました。しかし、思いついた単語を並べてやっと意味が伝わった時の喜びは今でも忘れません。

## 《 Report Now 》 SYMEでの語学研修報告

また、SYMEでの学びで最もよかったことは、英語で聖書を学び、神様を知ることのすばらしさに気づいたことです。聖書のクラスで英語の聖書を読み、分かち合い、問いに答えるということをしました。普段日本語でデポジションするのは違い、他言語で、より集中して聖書を読み深めることができました。また、共同生活の中で、課題のわからない部分を一緒に考え、悩み、分かち合う、いかにもTCUの寮生活を味わっているかのようなのでした。

英語と聖書、どちらも私が学び深めたい分野だったので、そのどちらも同時に学べる環境はとても素晴らしく、充実した日々を送ることができました。

コロナ禍で研修そのものが実行できるか定かではありませんでしたが、神様が私たちを導いてくださり、無事に研修ができたことを感謝します。



私は、貧困地域の女性支援について、特にセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) という女性の性と生殖の権利について調べています。夏に日本国際飢餓対策機構でインタビューを行い、キリスト者として貧困問題に取り組む活動を学び、現地スタッフの方とお話をしました。その中で、女性支援に取り組む緊急性や重要性を感じ、女性として、また日本人として、いかに貢献をしていくか深く考えることができました。

これから、プロジェクトをまとめるために多くの資料と格闘しながら、女性が生きやすい社会を作るヒントを得、貢献したいと思っています。

これから、プロジェクトをまとめるために多くの資料と格闘しながら、女性が生きやすい社会を作るヒントを得、貢献したいと思っています。



国際キリスト教学専攻3年  
小岩 乃恵留

## Global Connections シリーズ開催中

今年度、日本と世界の様々なテーマに目を向けるクリスチャンが、互いに学び合う「Global Connections」というオンラインイベントを開催しています。

全8回にかけてスペシャルゲストを迎え、世界で活躍するクリスチャンとつながります。どなたでも参加できます。

### これまでの内容と今後の予定

- 第1回 5月15日 ⊕  
白浜レスキューネットワーク
- 第2回 6月5日 ⊕  
カリフォルニアで日本人伝道に仕える女性牧師
- 第3回 7月24日 ⊕  
外国人収容所訪問ミニストリー
- 第4回 9月11日 ⊕  
クリスチャンとして世界や社会の問題を考える
- 第5回 12月4日 ⊕ 14時～  
すべての子どもが生(活)きやすい社会の実現を目指して
- 第6回 2022年1月15日 ⊕ 14時～
- 第7回 2022年2月5日 ⊕ 14時～

詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。  
[https://www.tci.ac.jp/future\\_student/fs\\_news/global-connections-2021](https://www.tci.ac.jp/future_student/fs_news/global-connections-2021)

## 夏期伝道

### 夏期伝道旅行感謝報告

日程：2021年7月9日～11日（日帰り3日間）  
 参加人数：派遣メンバー 32名、祈りのメンバー 28名  
 テーマ：「Hope! Step! Cheer Up! ～勇気100%～」  
 テーマ聖句：「世にあっては苦難があります。しかし、  
 勇気を出さない。わたしはすでに世に  
 勝ちました。（ヨハネ 16:33 後半）」

派遣教会：千葉県内の7教会

- ① 日本バプテスト連盟 富里キリスト教会
- ② 日本福音自由教会協議会 新松戸福音自由教会
- ③ 日本同盟基督教団 白井聖書教会
- ④ 日本同盟基督教団 行徳キリスト教会
- ⑤ 保守バプテスト同盟 保守バプテスト津田沼教会
- ⑥ 日本福音キリスト教会連合 OMF・ザ・チャペル・オブ・アドレシオン
- ⑦ 日本長老教会 西船橋キリスト教会



夏期伝道準備委員長  
 大学院1年  
 渡邊 まなか



コロナ禍の制約の中、学生と教職員の有志が地域教会に遣わされ、2年ぶりに夏期伝道旅行を実施することができました。チームを受け入れてくださった諸教会、多くの方のお祈りとご支援に心より感謝申し上げます。学生がデザインしたオリジナルロゴ入りのマスクを着用し、礼拝説教、証し、奏楽、特別賛美、路傍伝道、トラクト配布、祈禱会、子ども集会、青年会などの奉仕をさせていただきました。現地に直接行けなかった「祈りのメンバー」の学生も、工夫をこらし、オンラインを通して多彩な奉仕をしました。限られた期間ではありましたが、苦難の中でも私たちに勇気を与え、宣教のわざを進めてくださる主の栄光があらわされたときでした。各教会で蒔かれた福音の種が実を結ぶよう、続けてお祈りいただけますと幸いです。

## 特集2 夏の

緊急事態宣言発令  
 感染症対策  
 貴重なプログラ



## 介護実習



### グループホームの実習で学んだこと

私は夏休みに12日間、ホッとスペース中原のグループホームで実習をさせていただきました。

実習では食事準備や掃除などの環境整備を行いながら、利用者さんとコミュニケーションをはかり、授業では得られない多くの学びがありました。

これまで障がいのある方が身近にはいなく、関わったことがなかったのが最初はどうコミュニケーションをはかるかにも不安や戸惑いがありました。しかし、職員の方の姿や指導、また授業での学びを思い出しながら、実習を重ねる度に利用者さんとも少しずつ関係性を築いていくことができました。これまで利用者主体の支援を学び続けていましたが、実際に支援の立場に立った時に自分の価値観や先入観を押し付けてしまっていたことに気が付かされました。また、それが利用者さんのニーズや最善の支援の妨げになってしまうことがあるということも身をもって感じ、自分のこれからの課題であると思いました。

12日間の実習を通して、自分の弱さに気付かされ落ち込むこともありましたが、だからこそ相手に寄り添うこと、尊重し自分がその人の隣人になることで、キリスト教福祉の実践に向かっていけるのだと学ぶことができました。



キリスト教福祉学専攻  
 3年  
 福田 愛耶



# 報告

前の夏期休暇中に、  
を万全にして  
ムが行われました。



大学院1年 梁 サムエル

## 神学インターン

### 様々な形の伝道と教会として できること

大学院の春学期の学びを終え、私は夏休みに茨城県にある土浦めぐみ教会にインターンシップに参加させていただきました。都心から離れているとはいえ、大きい教会であるため感染に注意しながら行い、無事に3週間過ごすことが出来ました。

インターンシップの主な活動は、教会敷地内にある4つの事業の見学、キャンプや集会への参加、説教奉仕でした。土浦めぐみ教会は、保育事業、教育事業、介護保険指定事業、障がい者支援事業を行っており、平日はそれぞれの施設に伺いました。施設を通してできる伝道、またキリスト者として人々に仕える姿からいつも学ばされてばかりでした。また、困難の中でも教会が出来ることを祈りながら模索することは、将来教会に仕える者として必要であり、デイキャンプや礼拝など、今回の数々の活動の中でそのことをたくさん教えられました。

コロナ禍でありながら迎えて下さった土浦めぐみ教会と、導き守ってくださった神様に感謝します。

## インターンシップ

### 支援を志す者として

私は今夏、ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）の事務局で2週間インターンシップを行いました。今回のインターンシップは世界と日本の食料問題についての「学び」が中心でした。飢餓人口が着実に減少している地域がある一方で、経済が成長していても飢餓人口の多い地域があることを知りました。その事実から、食料問題の根本的原因はどこにあるのかを探ることの重要性を考えさせられました。

「溺れている赤ちゃんを見つけたら飛び込んで助ける。二人目の赤ちゃんも、三人目の赤ちゃんも、同じように助ける。しかし、助けることに気を取られ、誰かが赤ちゃんを川に投げ込んでいることに気づかない。」(Wayne

Ellwood)

インターンシップ中に出会ったこの言葉から、気づきを与えるファシリテーターの重要性を示され、自分も支援を志す者としてそのような視点を大事にしていきたいと思われました。



国際キリスト教学専攻  
3年  
渡部 息吹

ハンガーゼロ  
Hunger Zero

一般財団法人 Japan International Food for the Hunger  
日本国際飢餓対策機構

教員コラム



# アフガニスタンの今 中村哲医師の生き方から



森田哲也（准教授・国際キリスト教学専攻長）

「信頼」は一朝にして築かれるものではない。利害を超え、忍耐を重ね、裏切られても裏切り返さない誠実さこそが、人々の心に触れる。それは、武力以上に強固な安全を提供してくれ、人々を動かすことができる。私たちにとって、平和とは理念ではなく現実の力なのだ。私たちは、いとも安易に戦争と平和を語りすぎる。武力行使によって守られるものとは何か、そして本当に守るべきものとは何か、静かに思いをいたすべきかと思われる。」（中村哲『天、共に在り—アフガニスタン三十年の闘い』NHK出版、2013年、244頁）

この言葉は、長年アフガニスタンで、クリスチャン医師として現地で活動されていた中村哲医師のものだ。医療活動のみならず、砂漠化しつつあった土地に用水路を建設する等、様々な支援を通して現地の人々から深く信頼されていた方だ。残念ながら武装集団によってその尊い命が奪われて、この12月で2年になる。そのアフガニスタンは今、大混乱の中にある。ニュースから聞かれるのは、銀行や医療サービスが停止し、経済が麻痺状態であること。女性の就労や教育が制限されていること。そして、戦闘で家を追われた350万人にも及ぶ国内避難民の人道的危機等である。

このような混乱の中にある現在のアフガニスタンは、長年軍事作戦を展開していた米軍がこの8月に完全撤退し、イスラム主義勢力のタリバンが権力を掌握したことのみならず、むしろ冷戦後の様々な歴史的経緯の産物だ。しかし、重要なのは、「対テロ戦争」や「非民主的で遅れた国家の再建」といった大義名分を掲げて諸外国が武力行使し、現地の文化を尊重しない形で諸外国がアフガニスタンを建設し、平和をもたらそうとした点だ。しかし、そもそも平和とは、武力を伴う戦闘がない状態ではない。中村医師が言うように、人々が生きる「現実」の中で生まれてくるものだ。その現実には、そこに生きる人々が必要としている食べ物、水、教育等の、人としての基本的な必要が満たされ、その尊厳が守られている状態を含蓄するであろう。そのような現実を無視し、「利害を超え、忍耐を重ね、裏切られても裏切り返さない誠実さ」と「人々の心に触れる」努力を欠いた介入の結果を今、ニュースとして私たちは聞かされているのだ。



『天、共に在り—アフガニスタン三十年の闘い』  
【著】中村 哲 【出版】NHK出版

他者に触れ、理解する能力のことをエンパシー (empathy) と言う。「共感」と訳される中で、「自分で誰かの靴を履くこと」とも表現される（ブレイディみかこ『他者の靴を履く—アナーキック・エンパシーのすすめ』文藝春秋、2021年、13頁）。誰かをかわいそうに思う感情としてのシンパシー (sympathy) とも異なる。非人道的事態に直面するアフガニスタンの人々を前に、私たちキリスト者は反射的に憐れみの感情をもち、様々な目に見える支援の手をさしのべることを真っ先に考えがちだ。しかし、いまアフガニスタンの情勢から私たちに迫られているのは、他者を「他者として存在を認め、その人のことを想像してみること。他者の臭くて汚い靴でも、感情的にならず、理性的に履いてみること」（ブレイディ、前掲書、31頁）かもしれない。中村医師による支援活動にはおそらく、様々な利害関係の中で失望と共に裏切りを経験することが多々あったに違いない。それでも中村医師は、人々の心に触れようとする力をもってその使命を全うされたのだと思う。「人には捨てられたが神には選ばれた、尊い生ける石」（1ペテロ 2:4）でおられる主イエス・キリストに倣い、現地の人々に仕えられた中村医師の生き方から学び、私たちが「自分で誰かの靴を履くこと」に召し出されているのかもしれない。

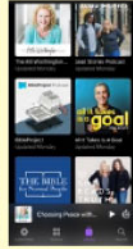
# 教員の日 Vol.6

## レベッカ・バビリエ先生

今回はウガンダ出身の「ベッキー先生」ことレベッカ・バビリエ先生の日を紹介します。TCUのある印西市で暮らし、英語のクラス、学生や友人との交わりを楽しんでいるようです。



6:15 起床



私は1日の始まりに、10分間の短い散歩をします。澄んだ空気と太陽が私の体を目覚めさせ、自然の中の輝かしい輝きの下で、神とその世界に集中することができます。1日の準備をしながら、私はポッドキャストやオーディオブックを聴くのが好きです。



日中は、オンラインクラスやミーティング、ライティングセンターでの学生対応など日によってさまざまな予定があります。



ライティングセンターは、自分の文章について相談したいすべての学生に開かれています。

8:40 仕事スタート

私は足を伸ばして近所を歩くのが大好きです。畑の近くの道を通ると、露店で野菜を買うことができますし、運が良ければ近所の人とおしゃべりできます。



アフリカ出身の学生たちとアフリカンダンスを楽しみます！

夕方になると、家族や友人とおしゃべりしたり、料理を作ったり、食事をしたりして過ごします。これは、日本時間から6時間遅れているウガンダの家族にとっても理想的な時間です。YouTubeで深夜のニュース番組を見るのも好きですし、何を見ようか迷ったときは、Netflixで「フレンズ」を再放送して楽しんでいます。



お風呂の後、読書や日記を書くのが好きです。

17:00 お仕事終了！

17:30

18:30 家族や友人との時間

21:30

## シオン祭 報告

# ZION Festival

シオン祭実行委員会委員長 神学専攻3年 金主栄

10月8日シオン祭IがZoomにて、10月9日シオン祭IIがYouTube上に委員会側で作成した動画を掲載という形で開催されました。

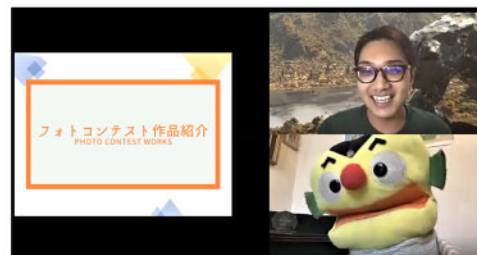
以前のようなキャンパスでの開催ではなく、またコロナの状況によって開催まで多くの変更などがありましたが、無事開催できたことを心から嬉しく思い、祈りに覚えてくださった方々に感謝します。昨年に続いてオンラインシオン祭ということもあり多くの試みがありました。シオン祭Iでは司会者を人形劇サークルに依頼し、新しいプログラムとしてフォトコンテストを実施しました。

シオン祭IIでは、学園の留学生たちの文化の一面を知れるよう、シオン祭用に動画を作成してもらいました。たくさんの人の協力があってシオン祭は成り立ちました。また、講師としてシオン祭Iでは山本陽一郎先生（TCU卒・多治見キリ

# OUR COLUMN

みんなのコラム

スト教会牧師)、シオン祭IIでは朝岡勝理事長に、今年のテーマである「めぐみ」を語っていただき、多くの学びと神様の恵みを、先生方を通して知ることができました。来年のシオン祭がどうなるかは分かりませんが、今後ともシオン祭を覚えていただけると感謝です。



シオン祭IIの動画はTCUのYouTubeチャンネルから見ることができますので、ぜひご覧ください。  
<https://youtu.be/paNigF7EyLg>



## 学生ブログ Pick Up!

### 「オンライン授業ってどんな感じ?」

学生広報スタッフが定期的に更新している「学生ブログ」の中から一推しの記事をピックアップします。今回は10月8日にポストされた「オンライン授業ってどんな感じ?」です。自宅でオンライン授業を受けているH.N.くんの様子を豊富な写真で紹介しています。なんと岩淵先生のギターレッスン

までオンラインで受講できるようです。

他にもコロナ禍での学生生活がよく分かる記事が更新されていますので、ぜひお読みください。

[https://www.tci.ac.jp/blog/category/tcu\\_blog/](https://www.tci.ac.jp/blog/category/tcu_blog/)



## 卒業生の絵本紹介

### ホンダマモルさん作の絵本 「だれのでこのて」



発行：いのちのこば社  
定価：税込 1,430 円（本体 1,300 円）  
公式 HP：<https://www.darenote.com>

TCU 卒業生で画家のホンダマモルさんの絵本「だれのでこのて」がいのちのこば社から発刊されました。

「だれのでこのて」は2020年に募集された「いのちのこば社絵本大賞」で大賞を受賞しました。

手をモチーフに構成され、次々に出てくる手は誰の手かを遊びながら楽しむことができます。そして最後に出てくるのは誰の手? シンプルで奥深く、読み終えたあとは子どもでも大人でも心がじんわり温くなる作品です。

そして「だれのでこのて」に歌をつけるプロジェクトがクラウドファンディングによって実現。公式ホームページにて絵本が歌になって公開中です。

ぜひ絵本と共に  
お楽しみ  
ください!



### 山下愛さん作画の絵本 「ことりのピピとじょうろくん」



発行：みらいパブリッシング  
定価：税込 1,430 円（本体 1,300 円）

TCU 卒業生の山下愛さん作画「ことりのピピとじょうろくん」がみらいパブリッシングから発刊されました。

山下さんは、日本イエス・キリスト教団服部喜望教会で副牧師を務めながら、特に子ども達や高齢者、病床者へ向けて、絵を用いて聖書を紹介し、希望と愛のこたえを伝えることに取り組んでおられます。

山下さん 上の息子が、風に揺れる葉っぱを見ては「みて、はっぱがよろこんでいるよ」と言い、公園の鳩を見ては「とりさん、ばいばーい」と手を降っていた頃、私はク

リスチャンの方が書かれたこのお話と出会い、作画する事になりました。このお話の中で私が一番好きなのは、おじいさんが、じょうろくんの傷を優しく手で包み込む場面です。絵を描きながら、「わたしの目にはあなたが高価で尊い」との主の愛の御声が心に響いていました。







## どこでも TCU エクステンション

2021年度秋学期から「どこでも TCU エクステンション」がスタートしました。これまでのオンラインによる科目等履修・聴講制度「どこでも TCU」は正課生の科目を受講するものですが、「どこでも TCU エクステンション」は独自に講座を用意し、金曜の夜や土曜日に1回1時間程度の講座を開講しています。また、パソコンが不慣れな方や、教会で励まし合いながら一緒に学びたい方のために、グループ受講制度を用意しました。

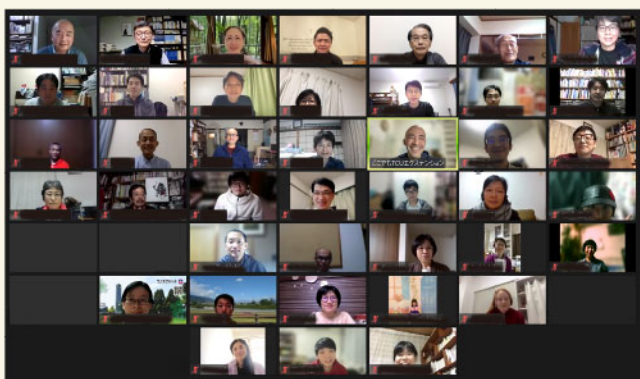
秋には、「いま、礼拝を考える」(朝岡勝)、「新約聖書ギリ

シャ語入門」(神田恵菜)、「教会学校教育の基礎」(岡村直樹)の3講座に、延べ143名の受講生が与えられました。「どこでも」に相応しく日本全国、海外から受講している方もいます。

冬学期は4講座を開講予定です。締め切りは1月12日(水)。詳しくは本学ウェブページをご覧ください。皆様のお申し込みを心からお待ちしています!

[https://www.tci.ac.jp/theology\\_department/](https://www.tci.ac.jp/theology_department/)

docodemotcuext



## ワーシップバンド セミナー報告

7/25 Sun. 8/1 Sun.

7月25日と8月1日の二日間、オンラインでのワーシップバンドセミナーを開催しました。TCUでワーシップに特化したセミナーを開催するのは初めてのことでした。講師は神学専攻4年生の山田永(やまだひさし)さん。山田さんは洗足学園音楽大学ロックアンドポップスコースを卒業しており、現在も Gospel Smith というワーシップバンドを主宰したり、プロのミュージシャンのサポートをしたりして活躍しています。一日目はバンド練習の準備や音の作り方についての講義、二日目は実際に Gospel Smith のみなさんが出演しての実演と楽器ごとの質疑応答が行われ、非常に実践的なセミナーとなりました。



## 茨城 YMCA と 包括的連携協定を締結

10/23 Sat.

10月23日、茨城 YMCA と TCU とは包括的連携協定を締結しました。

今夏2名のTCU生が茨城YMCAでインターンシップを実施するなど、キャリア支援での関係性が始まっていましたが、今回公式に協定を締結することとなりました。

今後は、より幅広く人的な交流を行い、宣教・福祉・教育などの面で協力していくことを互いに確認しました。



宮田康男 茨城 YMCA 総理事(左)と山口陽一学長(右) 包括的連携協定調印式



今年は2011年3月11日東日本大震災から10年が経ち、震災支援に関わってきた卒業生の方にインタビューをしています。特集最後の今回は、ハンガーゼロ(国際飢餓対策機構)の巡回牧師の田村治郎さん(東京基督教短期大学卒)にインタビューします。10年前の東日本大震災から現在も日本各地で起きている災害、そして世界規模の飢餓の問題までお話しくださいました。

田村治郎 | ハンガーゼロ (国際飢餓対策機構)

TCC 卒業から現在までの歩みを教えてください。

1988年に東京基督教短期大学(TCC)卒業し、88年~93年まで、hi-b.a. 関東スタッフとして高校生伝道に従事していました。その後、母教会グレース宣教会の奈良県開拓伝道を経て2001年から、グレース宣教会牧師として派遣され、ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)にて巡回牧師として従事しています。

東日本大震災におけるハンガーゼロの活動内容を教えてください。

震災後速やかに宮城県仙台市内に活動拠点(仙台YWCAをお借りして)を設置。その後、地域教会とともに、国内外のキリスト教会・諸団体と連携し災害支援に携わりました。主な活動は、ボランティアの募集と派遣手配、物資倉庫の確保と被災者への具体的な物資支援、ハンガーゼロ親善大使との協力で被災者への「慰めと励ましのコンサート」など物心両面の支援、被災教会への復興支援を行ってきました。



ハンガーゼロでは震災ボランティアや異文化実習などでTCU生を受け入れてくださっていますが、TCU生の印象・特徴を教えてください。

まず、献身者としての「仕える姿勢」が、支援にかかわった全ての学生から見出すことができ、その中には活動に対して受け身でなく具体的なアイデアなどを提案してくれるなど、その結果として被災者の方から「キリストさん」と親しみをもって呼ばれるほどに感謝と親近感、またそこにある教会の全人的宣教に従事してくれた同労者として非常に感謝しています。私たちの願いとしては、その支援活動に携わった一人一人が、「キリストの愛に生きる(人々に仕える)しもべ」として、社会の各層で活躍されることを祈っています。

震災から10年たち、今必要な支援、これから必要な支援はどのようなことか教えてください。

被災地に対しては、そこにあるキリストの教会が被災された方々の物神両面の必要に福音を持って応え続けることが肝要と思います。また、日本が災害多発国である以上、今後の災害(例:首都直下型地震、中・東・南海トラフ地震、気候変動における豪雨土砂災害など)を想定し、地域の教会(教団教派、時にわだかまりを超えて)が地域の方々や行政ともネットワークで協力し、「その時」に人々の全人的必要に応える準備と実施によって、地域の人々から「この町に教会があつて良かった」と認知される教会としてあることと考えます。

最後に、現在ハンガーゼロで取り組んでいるテーマについて教えてください。

ハンガーゼロの永遠のテーマは、「Together we follow God's call responding to human suffering and graduating communities from extreme poverty.」です。

そして、特に日本においては、この飢餓や貧困など、人類が経験する悲劇や不条理、紛争や差別、搾取など、その人としての尊厳が損なわれる全てのことは、その根源が「罪」であることを聖書から明白に示される以上、この世界にある課題は「教会の宣教の働き」であると信じ、私たちは日本にある教会から伸ばされた宣教の手・足であることを「終わりの日」まで実践し、「この最も小さき者たちのひとり」(マタイ25:40)に仕えることです。

その具体的な海外における活動はウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.hungerzero.jp/>

**Hunger Zero VOCセミナー**  
Vision of Community

**この町に教会があつてよかった!**

Whoistic ministry 全人宣教

この町に教会があつてよかった!と地域に認知される教会の姿とは? 前編と後編と開講、地域の人々に仕える途上の教会から学びます。

日時 11月15日(月) 全4回シリーズ  
22日(月) \*20名程度が中心に、講師の指導(東京・札幌・下町)  
29日(月) □昼の部 1:30~3pm  
12月6日(月) □夜の部 7:30~9pm

参加費 無料

申込締切 11月11日(木) \*定員になり次第締切

申込資格 ・どなたでもどうぞ!  
・インターネット環境のある方 (Zoomを使用してのセミナーとなります)

お問い合わせ 03-3518-0781  
tokyo@jiff.org

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構) 東京事務所 担当:中村まで

# 入試情報

神学部  
総合神学科1年次

大学院神学研究科  
博士前期課程(修士課程)

総合型選抜	オンライン総合型選抜	一般選抜	第II期一般・留学生入試
<b>【第3回】</b> <b>出願期間</b> 2022年 1月5日(☎)~1月17日(☎) <b>試験日</b> 2022年 2月5日(☎)	<b>【第3回】</b> <b>出願期間</b> 2022年 1月5日(☎)~1月17日(☎) <b>試験日</b> 2022年 2月5日(☎)	<b>【第3回】</b> <b>出願期間</b> 2022年 2月14日(☎)~2月24日(☎) *窓口提出は3月4日(☎)正午まで受付 <b>試験日</b> 2022年 3月7日(☎)	<b>出願期間</b> 2022年 1月5日(☎)~1月13日(☎) <b>試験日</b> 2022年 1月28日(☎)

2年次・3年次編入学試験も同日程で実施。

受験生特設サイトがオープンしました!

## 入試に関する問い合わせ

教務部入試担当

TEL. 0476-46-1131

E-mail

(学部) nyushika@tci.ac.jp

(大学院) graduate-school@tci.ac.jp



<https://www.tci.ac.jp/lp/Index.html>

東京基督教大学(TCU) 総合募金

## 明日の世界宣教者育成募金のお願い

TCU生の学びと訓練のために、明日の世界宣教者育成募金へのご協力をお願い申し上げます。

### ●「学生支援コイノニア募金」のお願い

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う学生支援と学修環境の改善のため、2021年度も引き続きご支援をお願いいたします。

募金目標：1,000万円

具体的な用途：①経済的支援が必要となった学生のサポート ②オンライン授業のための情報環境・設備の整備・改善

### ● 遺贈と相続財産によるTCUへのご寄付について

天の御国への凱旋に備え、地上で与えられた恵みを次の献身者の育成のために献げられる方が増えております。TCUではこうしたお気持ちを受け継ぐために「遺贈」と「相続財産によるご寄付」がございます。いずれも相続税が免除になるなどの税制優遇を受けることができます。ご検討いただけますと幸いです。

#### 遺贈によるご寄付

遺言書によって財産を相続人以外の特定の人や団体に寄付する遺贈による寄付に、東京キリスト教学園(TCU)を指定して「明日の世界宣教者育成」に役立てることをご検討ください。TCUへの遺贈は、三井住友信託銀行と提携しています。

#### 相続財産によるご寄付

故人の遺志、ご遺族の意思などに沿うならば、相続された財産について、東京キリスト教学園(東京基督教大学:TCU)の「明日の世界宣教者育成」に役立てることをご検討ください。

振込先 口座名：学校法人東京キリスト教学園 明日の世界宣教者育成募金

郵便振替：00110-5-575648 銀行口座：千葉興業銀行千葉ニュータウン支店 普通 1737541

東京基督教大学「明日の世界宣教者育成」支援会  
(TCU支援会)

〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5 東京キリスト教学園  
TEL: 0476-46-1131 FAX: 0476-46-1405 E-mail: shien@tci.ac.jp

# オープンキャンパス 2021

来場型  
オープンキャンパスは  
人数制限 20人 (付添1名まで)

**12/11** **土**  
**オンライン**  
 10:00 ~ 12:00  
 教会教職課程 WEB オープンキャンパス  
**キャンパス**  
 13:30 ~ 16:30  
 来場型オープンキャンパス

2022年 **1/22** **土**  
**オンライン**  
 10:00 ~ 12:00  
 WEB オープンキャンパス  
**キャンパス**  
 13:30 ~ 16:30  
 来場型オープンキャンパス

内容	学部・学科説明、在学生による TCU 紹介、キャンパスツアー、学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談
申込方法	本学ウェブサイトからお申込みください。
お問い合わせ	学長室 TEL: 0476-46-1131

## FCC 教会教職特別セミナー

2022年 **1/24** **月**  
 13:00 ~ 15:30  
 久島 真人 (日本福音自由教会協議会 八潮ホープフルチャーチ牧師)  
 「ニューノーマル時代の教会を考える」

場所	本学/教室・研究室棟
受講料	一般 2,000 円 支援会員 1,000 円
申込内容	①氏名 ②電話 ③ E-mail ④所属教団・教会名
申込先	E-mail: fcc@tci.ac.jp
申込締切	1月20日(日)

コロナウイルスの影響により Zoom でのオンラインセミナーに変更の可能性もあります。最新情報は本学ウェブサイトをご確認ください。

## 2022年度 介護福祉士実務者研修 受講生募集 Web通信制&スクーリング7日間

各コース最少開講人数 **4名**

4月コース 4/1 ~ 9/30	5月Aコース 5/1 ~ 9/30	5月Bコース 5/1 ~ 10/31
<b>保有資格</b> 無資格、初任者研修、訪問介護員養成研修3級・2級	<b>保有資格</b> 訪問介護員養成研修1級、介護職員基礎研修	<b>保有資格</b> 無資格、初任者研修、訪問介護員養成研修3級・2級
<b>申込期限</b> 2/25 (金)	<b>申込期限</b> 3/25 (金)	<b>申込期限</b> 3/25 (金)

※申込書の郵送と最低納付額の入金をもってお申込みが完了します。

研修内容や受講料など詳細は QRコードからご確認ください。

お問い合わせ 介護福祉士実務者研修  
kjk@tci.ac.jp



## Global Connections 2021

日本と世界の様々なテーマに目を向けるクリスチャンが、互いに学び合うオンラインイベントです。定期的にスペシャルゲストを迎え、TCUの学生・教員や、世界で活躍する卒業生やイベント参加者がつながります。

**1/15** **土** 14:00 ~ 15:30    **2/5** **土** 14:00 ~ 15:30

申込方法 本学ウェブサイトからお申込みください。  
 お問い合わせ TCU Global Connections TEL: 0476-46-1131

### 教会音楽アカデミーからのお知らせ

#### 「礼拝・音楽研究」 第71号 特集：苦難の中の賛美 2 (仮題)

2022年3月中旬販売開始予定  
 価格：1冊 1,000円 (税別/送料・振込手数料別)

お問い合わせ 教会音楽アカデミー TEL.0476-46-1131  
 E-mail: music@tci.ac.jp

### 卒業礼拝と入学礼拝のお知らせ

春期卒業礼拝    入学礼拝 (予定)

**3/11** (金)    **4/5** (火)

開催方法等は本学ウェブサイトでお知らせします。



東京基督教大学  
 TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY